

単元名 くしゃくしゃ ギゅっ(立体)

配当時間 3時間

- 単元の目標 (1) 紙をくしゃくしゃにしてできる形や感触を見付け、工夫して立体に表すことができる。
 (2) 紙に働きかけることで生まれる形から、つくりたいものを考えるとともに、できた作品を友達と紹介し合い、そのよさを感じ取ることができる。
 (3) くしゃくしゃにした紙の感じや変化や、その紙を基にお気に入りのものをつくることを楽しもうとする。

標準的な展開例

02080103_001

【準備等】クラフト全紙、クラフトロール紙、新聞紙、お花紙、カラーペン、ひも、モール、ビニルテープ、色付き輪ゴム、毛糸、リボン、身近材（目などにするボタンなど）、色紙、セロハンテープ、化学接着剤、はさみ など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 大きな紙をくしゃくしゃにし、感触を確かめながら、その特性を十分に味わう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 紙をくしゃくしゃにして、ぎゅっと抱きしめたり、ねじったりしながら、手触りや巻き心地などを味わう。 材料の特徴から、変形する方法を見付けて発表させる。 <ul style="list-style-type: none"> 丸める方法 中に何か詰めて膨らませる方法 しばる方法 丸める方法 ねじる方法 <p>★くしゃくしゃにした紙を丸めたりふくらませたりしてお気に入りのものをつくらう</p> <ul style="list-style-type: none"> くしゃくしゃにした紙を、丸める、ねじる、絞る、結ぶなどの操作をしながら、つくりたい立体のイメージをもつ。 <p>2～3 紙をくしゃくしゃにした形の感じから、自分なりに楽しいことを思い付きながら工夫して表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 十分に紙と関わりながら、自分が思い付いたつくりたいものになるように、材料やつくり方を工夫してつくる。 <ul style="list-style-type: none"> 少しずつ分けて縛って、新幹線にしよう。 逆から見るとカメに見えてきたよ。 体には色を塗ってみようかな。 これとこれを組み合わせよう。 <p>○つくりたいものになるように、顔などをかく。</p> <p>○どんなものをつくったのか紹介し合い、できた形のよさや面白さについて話し合う。 <ul style="list-style-type: none"> 私は、カメをつくりました。工夫したところは甲羅にいろいろな色や形の折り紙を貼ったところです。中に新聞紙を入れたので、ぎゅっとするととても柔らかくて気持ちがよいです。 </p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書 1・2下 P.20, 21 材料の感触を思う存分味わわせる。 体全体の感覚を使って、いろいろと試してみることが促す。 児童の発言から、いろいろな形を変える工夫があることに気付かせる。 変形する方法を実際に試してみるように促す ひもでしばるところを変えると形が変わることを例示する。 袋の中から何かを詰めてつくることもできる教科書P.20「ふくろのつくりかた」の例や、紙ひもや両面テープなどの材料・用具を提示し、活動のイメージをもたせる。 試してできた形を、いろいろな方向から見ることでイメージを広げさせる。 【評】紙の変形方法を試す活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 初めから、つくりたいものをイメージさせるのではなく、くしゃくしゃにしながら感じたことやできた形から、つくりたい形がイメージできるようにする。 何度も試したり、やり直したりしていいことを伝え、試した中から発想させるようにする しばる部分の分量の違いで、顔や体などの大きさが決まり、全体の感じが変わること気付かせる。 つくりながら、自然に友達の活動も見て、イメージが広がるように促す。 つくりたい様子に合わせて、ペンや他の材料を使って絵をかき足したり、飾りを工夫したりして、思いを広げさせる。 【評】作品を通して、表したいことに合わせて工夫して立体に表す「知識・技能」を評価する。 【評】作品を通して、自分の思いに合った表し方を考える「思考・判断・表現」を評価する 発想や形の面白さ、工夫など話し合う視点をもたせる。 自分の作品を紹介する中で、友達の工夫を自分の作品に取り入れたところを発表させるのもよい。 【評】自分や友達の作品のよさを感じ取る活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。

【 備 考 】